

令和4年度 第8回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和4年12月26日（月）午後2時～4時15分

■場 所：北庁舎3階 第6会議室

■出 席：（敬称略）

（委員）（9名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、表 伸一郎、増山 弘子、
小西 信生、成瀬 こずえ、石川 伊智郎、森嶋 正行

（事務局）（1名）塚原 二郎

■欠 席：（敬称略）

（委員）（1名）吉武 考三郎

■議 事

1 報告

(1) 令和4年度 第8回検討調整会議事録

⇒ホームページスラックの説明にプラッツを加えることでした承。

(2) かんきょう塾第6・7回開催結果

⇒第6回アンケート結果説明。また、内容は好評であった。

第7回についても好評であった。

(3) 各部会報告

⇒環境学習部会 令和5年度のカリキュラム、イベントなどの検討。
来年度からエコリーダーの事も考慮したい。現在、新宿区、北区などエコリーダー養成講座のあるところを参考にしたい。とにかく受講者が環境は自分たちの問題であることを認識して何か動いてもらいたい。また、若い人にも反応してほしい。親子かんきょう塾のバス見学などに子どもたちを連れて行き、その後環境活動などに参加してもらえればと考えている。

⇒水と緑のネットワーク部会 休会中

⇒広報部会 活動センターだよりの記事が固定化している。登録団体の活動報告など中身が変わらない。少し目先の違う、環境美化活動をしている自治会の紹介やけやき並木清掃活動などを紹介したい。また、市の中で環境に関連した事業なども掲載したい。多くの人に見てもらうためには部数を増やす必要があると考えている。このように内容を充実することや、ホームページの更新や内容の向上を考えているが、メンバーが不足しているため対応できていない。そのほか、学校や企業などの環境活動を記事にしてみたいが、学校は良いとして企業の活動紹介は、その企業のPRにならないかと考えて

しまうが、あくまでも活動の紹介なので、結果として企業のPRになったとしても良いのではと思っている。また、このような活動紹介がさらに多くの企業の参加につながると考えている。

(4) その他

・ 12月議会の中で活動センターに関する質問はどのような内容だったのか。

⇒活動センターの役割、環境基本計画の位置づけなどについての質問があった。役割については、市民への環境に関する学習や交流事業に、環境保全活動センターに登録しているサポーターが中心となり、市と連携しながら進めている。環境基本計画における位置づけについては、市民・事業者・行政などの各主体の連携組織の中心としての位置づけであるといった趣旨の回答であった。

・ 第5回検討調整会(8月開催)で提出した「環境学習拡大計画(案)」について何の反応もないが、この扱いについてははっきりしてほしい。

⇒この件については1月の会議で話すことにする。

2. 議事

(1) 府中市環境保全活動センターホームページリニューアルについて

⇒前回の話からより具体的なイメージ案を用意した。トップページでは、検索がしやすいようにした。各種情報のポータルサイト的なものをボタンにして置いている。そのほかの情報用のボタンも用意した。次ページ以降、動画などの配置、スラックを利用したバーチャル会議室となる「ひばりひろば(仮)」、ライン、SNSに対応したものとして、多くの方に参加してもらえるようにしたい。

・ 情報のやり取りだけでなく、もっとすそ野を広げたものにしてはどうか。

・ 市民感覚のコンテンツを環境情報を反映すべきだ。

・ 情報には市のもので、ゴミや公害についても載せたい。

・ しっかりとつながりを持った情報源を多く集めたい。

⇒このイメージ図はあくまで案なので何も決まっていない。委員のご意見をいただき具体的な内容を決めていきたい。

・ このホームページは活動センターのものであれば、コンセプトはどのようなものか。

・ 市のホームページから活動センターのホームページへ移る時に、市のホームページの中で活動センターを探すのは難しい状況にある。これも一緒に改善してほしい。

- ・様々な団体を紹介するのはプラッツが作った「プラ net」を利用する（リンクするなど）のが良いのでは。
 - ・学校が使うことを考えると市内の環境情報、環境動画が見られると良い。ただこれらの資料や動画を誰が用意するのか。少しずつアップしていくようにするしかないのでは。
 - ・ホームページの資料は、ホームページに詳しい人が作らないとわからない。説明についても同様である。
 - ・作る側と使う側の意見が違うので、ちょっとした変更でも費用に大きな差が出ることもある。
 - ・サイトマップを見たい。
 - ・しっかりとしたサイトマップを作ることで、どのような機能をつけるか、どのようなページが必要かといったことを洗い出し、中身をみて各ページのニーズを吸い上げ、それからまとめれば良い。
 - ・「府中市の環境」を全面に出すと活動センターのカラーが薄くなってしまう。
 - ・活動センターをメインにして府中市の話は薄くしないと市のホームページになってしまう。
 - ・メンテナンスを誰がやるのか。リンクの確認など運用時のことも考える必要がある。
 - ・しっかりしたサイトマップ出してもらい検討したい。
 - ・ホームページを誰が見るのか(誰に見せるのか)、何をみせるのか、企業でもない団体でもないそういうものを上手く載せるようにしたい。
 - ・面白味のあるものにしたい。ゲーム的な要素を入れて 1 回アクセスすることにその成果が現れるようなものを用意する。現行のホームページはまじめすぎ。
 - ・SDGs の 17 のゴールを入れる。逆引きにするとゴールへのヒントになり、見てもらえる。
 - ・元々、活動センターの場所に代わるものとして出てきた話なので、バーチャルの広場(会議室)をメインにする。あとは、附属するもので良い。広場の利用方法、どんなことができるのか。広場の機能を手厚くしたい。
- ⇒次回はリモートセンターを中心として、事務局からホームページのフレームの案を出してもらい委員から意見をいただきたい。

(2) 令和 5 年度の活動センター事業について

- ⇒資料の方は、環境学習部会のものをそのまま使っている。令和 5 年度のかんきょう塾は全 7 回を予定しており、来年、1 月に農工大学の

方へ講師のお願いに伺うことになっている。そのほかのイベント系や親子かんきょう塾、活動センター事業などは今年度ベースで作っているので、新しいものやご意見などいただきたい。

- ・エコリーダー養成の話もあったがどのようになっているのか。
- ⇒かんきょう塾の第7回でエコリーダーについてチャレンジしたいと考えている。1月に農工大学に行き府中の環境問題について意見をもらえないか相談する。6回の講座の中にもエコリーダーのにおいを混ぜるようにしたい。稲城市のボランティア活動を見に行くなどしたい。
- ・東京都などのエコリーダー養成講座の専門講師に依頼しないのか。
- ⇒東京都に登録している講師は謝礼が高いのでお願いが難しい。
- ・活動センター事業の中に環境学習は含まれるのか。エコリーダーの養成をしても、その後の活動をどこでするのか。学校での環境学習の場を作ることで具体的な活動の場が確保できるのでは。
- ⇒学校での活動は、十分な準備と学校との打合せが必要で、すぐに活動できる場としては難しいと考えている。
- ・学校間ではいろいろな情報のやり取りを行っているので、親子かんきょう塾やJICA関係者の話など小・中学生でも興味のあるものなので、校長会での説明やチラシの配布などPRが十分できればもっと人が集まると思う。
- ⇒このほかに、アイデアや提案などあれば1月10日までに事務局、関係者にメールしていただきたい。

(3) その他 環境まつり実行委員について

令和5年度の環境まつり実行委員について、環境まつり担当事務局から当会に2名の実行委員選出依頼があったが、2名の立候補があり確定した。

■次回開催予定日

令和4年度 第9回府中市環境保全活動センター検討調整会
(通算137回)

日 時：令和5年1月23日(月) 午後2時～

場 所：第2庁舎3階 小会議室